

令和4年 お茶づくり技術情報 (No.2)

2022年4月1日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 一番茶の萌芽

- (1) 茶業試験場内の作況調査園（定点調査園、品種：やぶきた）において、3月30日に一番茶の萌芽を確認した。本年の萌芽期は、前年（3月28日）より2日遅く、前3か年平均（3月29日）より1日遅かった。
- (2) 茶業試験場内のさえみどり（慣行栽培園）では、3月21日に一番茶の萌芽が確認され、前年より1日早かった。



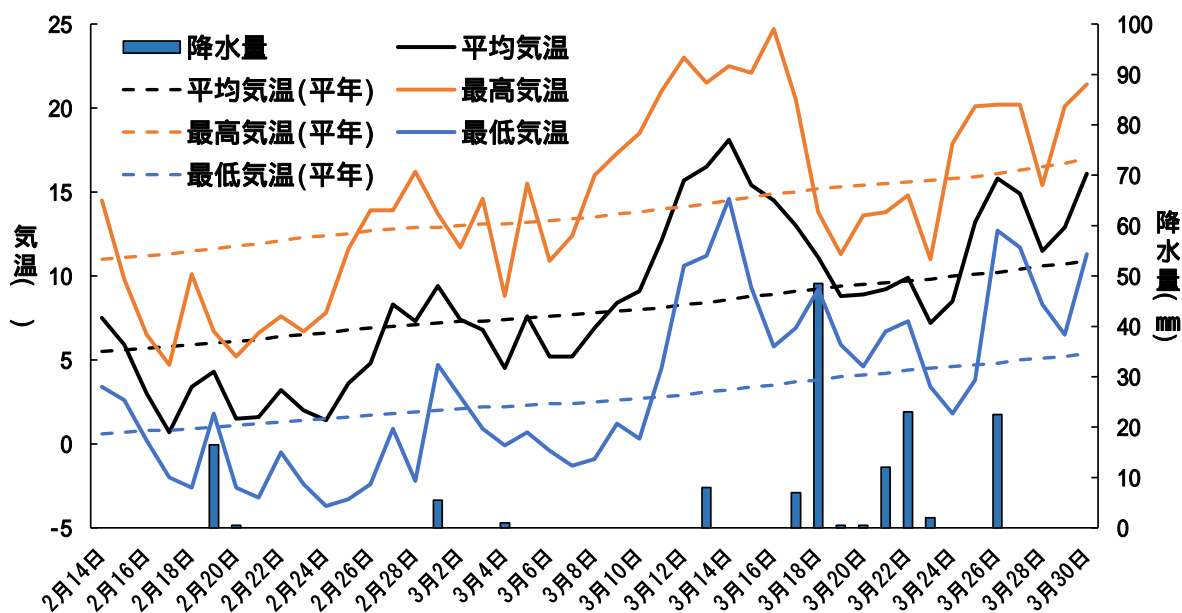
写真1 『やぶきた』の一番茶芽



写真2 『さえみどり』の一番茶芽

(撮影：2022年3月31日)

2) これまでの気象（2月下旬～3月下旬、嬉野）



- (1) 2～3月の気温は、2～3月上旬まで平年より低く、3月中旬は晴天日が続き平年より高くなったが、3月下旬は平年並みだった。
- (2) 降水量は、2月下旬および3月下旬は平年並で、3月下旬は平年より多かった。

3) 今後の気象の見通し

■ 2週間気温予報 (気象庁、令和4年3月31日発表)



- (1) 今後2週間 (4/1~) の最高気温は、4月4日~7日まで平年より高くなる可能性が高いと予想され、その前後は平年並と予想されている。
- (2) 今後2週間(4/1~)の最低気温は、平年並みと予想されている。

■ 1か月予報 (気象庁、令和4年3月25日発表)

向こう1か月の天候の見通し

福岡管区気象台

九州北部地方 (3月26日~4月25日)

1か月の平均気温・降水量・日照時間

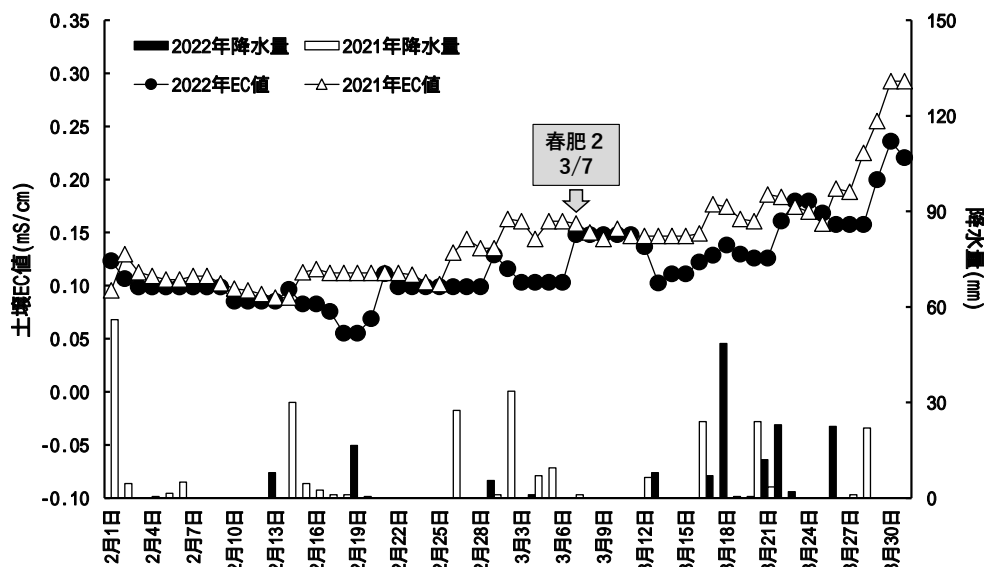
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
九州北部地方	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み

- (1) 向こう1か月の平均気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年より高くなる見込み。
- (2) 向こう1か月の降水量および日照時間は、ほぼ平年並となる見込み。

※最新の気象情報は、気象庁 HP の『2週間気温予報』や『季節予報』をチェック!

2. 今後の管理

1) 施肥管理



注) 本年の土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25 cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき推定した値を示す

- (1) 土壌 EC は、2 月以降は前年並か前年より低く推移し、春肥 2 施用 (3/7) 後晴天日が続いたことで低く推移したが、3 月中下旬の降雨により徐々に上昇している。
- (2) 芽出肥は一番茶摘採の 30~40 日前を基本とし、施肥後は土壌と混和する。
- (3) 分施する場合は最終施肥として速効性肥料 (硫酸など) を摘採 14 日前頃 (2 葉期) に行う。

2) 被覆

- (1) 遮光率 70%程度で、穴・汚れ・異臭のないものを使用する。
- (2) 被覆開始は、新芽の芽数や生育速度を考慮し、摘採時期より判断する。基本は 2.5~3.0 葉期とし、期間は 10 日間程度とする。極端な若芽への被覆は減収につながるため避ける。また、高温等で生育が進む場合には、早めの被覆を心掛ける。
- (3) 直前の気象条件により新芽生育は異なるため、気象庁の 2 週間気温予報の確認、茶園巡回や芽の観察をこまめに行うなど、適期の被覆開始となるように心がける。
- (3) 被覆後は、風による煽りや擦れによる葉傷みが発生しないように、資材の固定を確実にを行う。
- (4) 被覆資材の除去は、摘採当日の早朝が望ましく、なるべく日光にあたる時間を少なくし、色戻りを避ける。除去時は上に持ち上げるように外し、葉を傷めないようにする。

3) 病害虫対策

病害虫防除については、『令和 4 年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき』を参照してください。

『令和 4 年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき』

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321964/index.html>

